

# Veritas News

No.176  
9月号



《基本理念》 真心のこもった良質な医療を通して地域社会に貢献します

《基本方針》 1.安全で安心な医療を提供します 2.優秀な医療技術の向上に努めチーム医療を推進します 3.快適な医療環境を提供します  
4.全職員が誇りをもって働ける環境をつくります 5.安定した経営を維持し地域と職員に還元します



## 目次

- 1 週刊朝日MOOK「脳・心臓のいい病院」に記事を掲載しています
- 1 緊急車両導入のお知らせ
- 2 医療講演会の御案内
- 2 BLSヘルスケアプロバイダー/  
竹下前理事長を偲ぶ会/患者  
満足度調査のお知らせ
- 3 栄養通信
- 4 治験案内/外来変更について

## 週刊朝日MOOK「脳・心臓のいい病院」に記事を掲載しています。

8月30日出版の週刊朝日ムック「脳・心臓のいい病院」に当院、循環器科および脳神経外科が紹介されております。

脳外科に新たに入職された祝迫医師は三叉神経痛、髄膜腫、聴神経鞘腫などの治療や手術経験が豊富で、ベリタス病院ではあまり治療実績がなかった、これらの疾患に対しても治療が可能となりました。

また、当院循環器は狭心症や心筋梗塞など心臓血管の冠動脈を中心に、腎動脈や下肢静脈などに対して、血管にカテーテルと呼ばれる管を通して治療するカテーテル治療を行っています。2015年度は約300件の治療を行っており、近隣では国立循環器病センターや東宝塚さとう病院、豊中市民病院に次ぐ件数となっております。

顔面の痛みや胸の違和感を自覚される方は、1度当院の外来でご相談ください。

「脳・心臓のいい病院」は外来・病棟にも設置しておりますので、興味のある方は是非ご覧ください。

## 緊急車両導入のお知らせ

ベリタス病院ではこのたび緊急用車両を導入することといたしました。

医療機関では、病状や容体によっては、より高次の医療機関や、専門治療が可能な医療機関に患者様を転送する場合があります。

たとえば、大規模な手術が必要な患者さまを大病院に搬送する前の応急処置を行った場合などです。そういった場合、今までベリタス病院では救急隊に協力を依頼し、搬送をお願いしていました。

しかし、救急機能の強化を目標としてきた結果、ここ数か月、以前の倍の救急患者を受け入れることとなり、受け入れの数に比例して、患者さまを転送する機会も増えてきました。市の救急車の数も限られているため、病院独自に緊急搬送用車両が必要であると判断し、導入することとなりました。導入を機にますます積極的に地域の救急医療に貢献していきたいと考えています。



救急車内部の写真



# 医療講演会のお知らせ

『睡眠時無呼吸症候群について』

人生の3分の1を費やしている睡眠。この貴重な時間も良質な睡眠でないと、日中の活動性や労働の質、運転能力などが低下することが知られています。これが睡眠時無呼吸症候群（SAS）です。今回、睡眠時無呼吸症候群の詳しい内容やその診断の為の検査、治療方法についてお話をさせていただきます。

日時 9月 24日（土）  
14：00～15：00  
場所 新田ふれあい会館  
講師 臨床工学科主任 細川 健次

【お問い合わせ】※お申込み・参加費用は不要です

ベリタス病院 地域医療連携室

受付時間 平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～13:00

電話 072-793-7890 (代) FAX 072-793-0900

e-mail rennkei@shinshinkai.jp

## BLSヘルスケアプロバイダー

BLSとは一次救命処置のことで、呼吸が止まり心臓も動いていないと見られる人の救命へのチャンスを維持するため、特殊な器具や医薬品を用いずに行う救命処置として定義付けられています。

日本ACLS協会というアメリカ心臓協会（AHA）と正式に提携した国際トレーニング組織が主催で行っている講習認定のひとつにBLSヘルスケアプロバイダーというコースがあり、このたびこのコースの講習を受け、当院放射線科職員1名、臨床検査科職員1名の計2名が認定を取得いたしました。

この認定は一般的に医師や看護師が主に取得していましたが、当院では医療技術者（診療放射線技師や臨床検査技師）も医療従事者として万一の場合に備えて適切な対応ができるよう、日々トレーニングを行うよう心掛けており、今回受講しました。

これからもこのような講習を積極的に受講し、少しでも病院のため、患者様のためになれるよう努力していきたいと思います。

## 竹下前理事長を偲ぶ会

さる4月6日、当院前理事長である竹下正先生が他界し、8月6日に故人に縁のあるものを中心に偲ぶ会を行いました。

前理事長は、ベリタス病院開院より産婦人科医師として川西市の産科医療に力を尽くし、30年以上にわたって何千というお産に立ち会ってきました。また、初代理事長が亡くなった後は、理事長としても当院の発展に尽力いただきました。

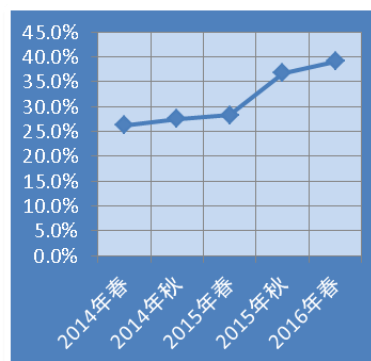
残された我々職員は前理事長の遺志を継ぎ、今後も地域医療に貢献していけるよう頑張ってまいります。



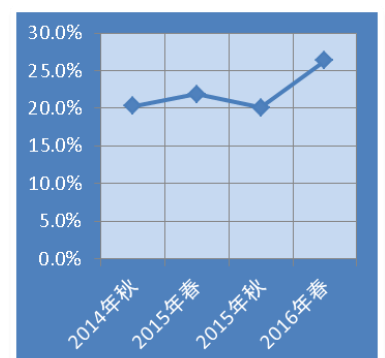
## 患者満足度調査実施について

ベリタス病院では患者様の満足を大切に考え、春と秋の年2回、患者満足度調査を実施しております。今年も入院調査は9/1～9/30の1か月間、外来調査は9/12～9/17の期間で実施させていただきます。御忙しいところ申し訳ありませんができる限りのご協力をお願いいたします。

今まで調査時に頂いた御意見を参考に接客改善を進めてきた結果、少しずつではありますが満足度が向上している傾向にあります。今後とも頑張ってまいります。



入院



外来

これまでの調査で「総合的に非常に満足」とお答えいただいた割合



# お酢

昔から体にいいと言われているお酢。「血圧が下がる」「中性脂肪を減少させる」などと言われ、最近では飲むお酢も人気となっています。今回はお酢にはどのような効果があるのかをお伝えしたいと思います。

## 血圧低下作用

血圧が高めの人はお酢を摂りはじめて2週間ほどで血圧が下がり始め、1～2ヶ月後に血圧低下が認められたという報告があります。さらに、健常者が同じように摂取していても、血液分析等を含めて異常は認められなかったと確認されています。しかし、お酢の摂取を中止すると、血圧は元に戻ってしまいますが、摂取前より高くなることはなく、リバウンド作用はありません。

## 内臓脂肪を減らす効果

お酢を毎日大さじ1杯～大さじ2杯程度摂取するだけで、内臓脂肪が減少する効果が実証されたとの発表がありました。12週間毎日摂取し続けた結果、内臓脂肪と皮下脂肪も有意に減少し、血中中性脂肪も減少したとの報告があります。ただ、お酢の摂取を中断すると元に戻ってしまうことがわかっています。

## 血糖値上昇抑制作用



食事に大さじ1杯のお酢を摂ると、食後の急激な血糖値の上昇を抑制する効果があることがわかりました。血糖値の抑制に関わるのは食酢の主成分である「酢酸」の働きによります。臨床試験では、お酢をドリンクとして摂取しても、食事(酢の物など)として摂取してもどちらも同じように急激な血糖値上昇を抑制するということがわかりました。

## 食欲増進作用の手伝い

食欲がないときでも、お酢をきかせた料理は食欲を回復させてくれることがあります。酢のさっぱりとした酸味が、味覚や嗅覚を刺激し、唾液や胃液の分泌を促し、食欲増進作用のお手伝いをします。

## お酢を飲むときの注意点



### ①希釈するタイプは濃度に注意

飲むお酢には、そのまま飲めるタイプと水やジュースなどで薄める希釈タイプの2種類あります。希釈タイプの場合、説明書に記載してある通りに薄めて飲むようにしてください。十分に希釈せずに高濃度で飲むと、強い酸の影響により口の中や食道、胃の粘膜などが荒れてしまう可能性があります。胸やけを起こす場合もありますので注意が必要です。料理に使用する食酢を飲用にする場合も5倍程度に薄めましょう。

\* 飲むお酢には糖類が含まれるものがありますので、糖尿病など血糖値の気になる方は飲み過ぎないように注意しましょう。

### ②空腹時を避ける

朝起きてすぐや空腹時にお酢を飲むと、胃を傷めてしまう可能性があります。食事中や食後に飲むなどして、胃がからっぽの状態では飲まないようにしましょう。

# 酢生姜の棒々鶏風サラダ

1人分のカロリー  
105kcal  
塩分1.2g



## 棒々鶏風サラダの作り方

### 【材料】(4人前)

・ささみ	4本	●味噌	大さじ2
・きゅうり	1本	●砂糖	大さじ1
●酢生姜(身の部分)	大さじ1	●醤油	大さじ1
●酢生姜(漬け汁)	大さじ1～	●すりごま	大さじ1

## 酢生姜の作り方

### 【材料】(作りやすい分量)

- ・生姜 100g
- ・酢 100cc
- ・ハチミツ 20g

### 【作り方】

- ①生姜をみじん切りにする
- ②容器に①の生姜と酢、ハチミツを加えて軽く混ぜ、冷蔵庫で1日寝かせる

### 【作り方】

- ①ささみは5分程度弱火で茹で、ざるに上げてそのまま冷ましておく
- ②●の調味料をボールで混ぜておく
- ③きゅうりは細切りにした後、塩少々(分量外)で軽くもみ、5分ほど置いておく
- ④ささみの水気をとり、ほぐしながら②のボールに加える。(このときささみの筋は除く)
- ⑤きゅうりの水気を絞ってボールに加え、全体をよく混ぜ合わせて完成

## 創薬センターからのお知らせ

### 『治験にご協力いただける方を募集します』

創薬センターでは、下記の疾患を対象とした治験にご協力いただける方を募集しています。詳しい情報がお知りになりたい方、治験にご興味をお持ちの方、および治験に関するご質問は、総合受付までお申し出ください。創薬センターにおつなぎ致します。

- ①慢性心不全
- ②脂質異常症



## 外来変更のお知らせ

医師の入退職に伴い、外来診療に一部変更があります。病院で配布しております外来医師担当表もしくは、ホームページでご確認ください。また、以下の診療科については、新たに診療可能な曜日が増えております。

**循環器科 土曜日午前**

**脳神経外科 火曜日午後**

受診方法や受付時間は診療担当表でご確認ください。

### 求人のご案内

ベリタス病院では、右記の職種を募集しています。募集要項、及び待遇等につきましては、当院HPをご覧ください。

### 〈募集職種〉

看護助手	医事課職員(常勤)
看護師・助産師	医師事務作業補助
作業療法士	診療情報管理士 等



## Veritas News

発行 医療法人晋真会ベリタス病院 広報委員会発行責任者 丸中 雅博

〒666-0125 兵庫県川西市新田 1-2-23

電話 072-793-7890(代) FAX 072-792-5771

Email info@shinshinkai.jp

ベリタス病院



ベリタス病院ホームページ

facebook

ベリタス病院公式Facebookページ

